

■コメント

1. 腸管出血性大腸菌感染症

1件の報告があり、今年の累計は42件となりました。特に8月中旬以降多発しており、9月も12件報告されています。2000年以降の年間報告数としてはすでに2番目に多い報告数(2004年:47件)となっています。

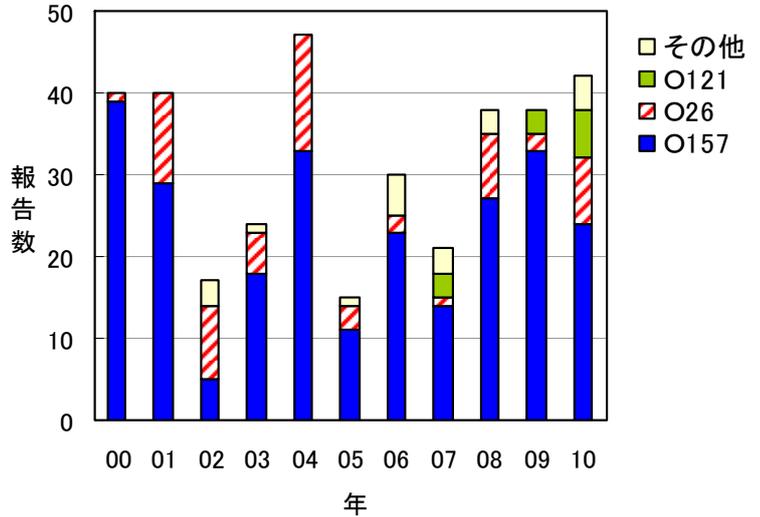
予防には、手洗いを励行しましょう。特に、トイレの後や、調理の前、食事の前には、石けんと流水でよく手を洗いましょう。

2. RSウイルス感染症

10人(定点当たり0.42人)報告されています。例年同時期と比べて多い状態が続いています(次頁参照)。

年齢を問わず繰り返し感染しますが、年齢が低いほど重症化しやすく、肺炎や気管支炎を引き起こすことがあるため、乳幼児は注意しなければならない疾患です。

腸管出血性大腸菌感染症(2010年10月3日現在)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年間(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年間(注)	発生記号
インフルエンザ	-	-	0.37		ヘルパンギーナ	5	0.21	0.29	
咽頭結膜熱	4	0.17	0.17		流行性耳下腺炎	38	1.58	0.72	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	11	0.46	0.95		RSウイルス感染症	10	0.42	0.07	
感染性胃腸炎	65	2.71	3.82	↗	急性出血性結膜炎	-	-	-	
水痘	14	0.58	0.66	↗	流行性角結膜炎	6	0.75	1.45	
手足口病	1	0.04	0.24		細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	1	0.04	0.15		無菌性髄膜炎	-	-	0.17	
突発性発しん	12	0.50	0.69		マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.40	
百日咳	6	0.25	0.13		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	3	180	男性(40歳代)・1人、男性(70歳代)・1人、女性(80歳代)・1人
3	細菌性赤痢	1	3	男性(40歳代)・市外・推定感染地域:国外
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	42	男性(10歳未満)・O26
5	アメーバ赤痢	2	7	男性(40歳代)、女性(40歳代)
5	急性脳炎	2	7	女性(20歳代)、女性(30歳代)
5	風しん	1	4	女性(20歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	週	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	
			第35週	-	16	10	71	21	5	1	10	1	9	21	3	-	9	-	-	-	-
第36週	-	11	12	73	15	12	1	15	1	9	40	2	-	8	-	-	-	1	-	-	
第37週	-	10	8	70	15	2	-	20	1	4	27	7	-	5	1	-	-	-	-	-	
第38週	-	3	14	46	15	4	-	9	1	8	32	7	-	1	-	-	2	2	-	-	
第39週	-	4	11	65	14	1	1	12	6	5	38	10	-	6	-	-	-	1	-	-	
定点当り	広島市	第35週	-	0.67	0.42	2.96	0.88	0.21	0.04	0.42	0.04	0.38	0.88	0.13	-	1.13	-	-	-	-	-
第36週	-	0.46	0.50	3.04	0.63	0.50	0.04	0.63	0.04	0.38	1.67	0.08	-	1.00	-	-	-	0.14	-	-	
第37週	-	0.42	0.33	2.92	0.63	0.08	-	0.83	0.04	0.17	1.13	0.29	-	0.63	0.14	-	-	-	-	-	
第38週	-	0.13	0.58	1.92	0.63	0.17	-	0.38	0.04	0.33	1.33	0.29	-	0.13	-	-	0.29	0.29	-	-	
第39週	-	0.17	0.46	2.71	0.58	0.04	0.04	0.50	0.25	0.21	1.58	0.42	-	0.75	-	-	-	0.14	-	-	
全国	第37週	0.05	0.34	0.65	3.18	0.49	0.89	0.24	0.67	0.03	0.57	1.06	0.25	0.01	0.86	0.02	0.04	0.37	0.03	0.03	
第38週	0.04	0.22	0.55	2.67	0.51	0.62	0.20	0.57	0.02	0.30	0.97	0.24	0.02	0.67	0.02	0.05	0.34	0.03	0.03	0.03	

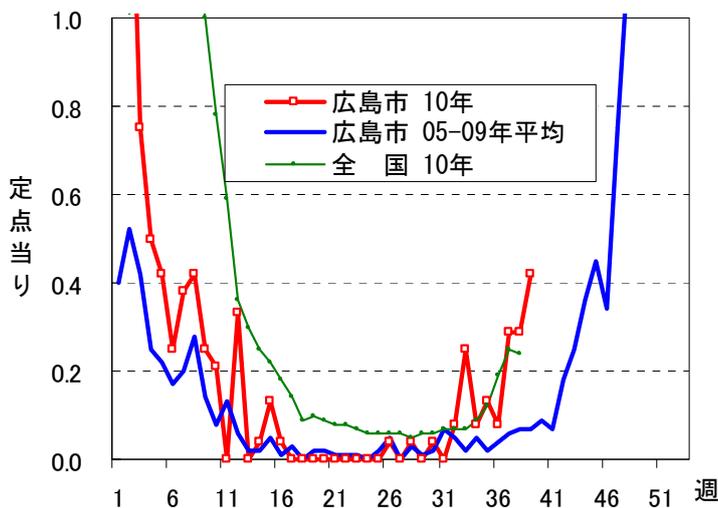
■新たに判明した病原体検出状況

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
咽頭結膜熱	1	男	2010/08/22	咽頭拭い液	RSウイルス
ヘルパンギーナ	1	男	2010/08/24	咽頭拭い液	RSウイルス
無菌性髄膜炎	9	男	2010/08/21	咽頭拭い液	エコーウイルス25型
その他の呼吸器疾患	0	女	2010/08/18	糞便 鼻汁(拭い液)	パレコウイルス3型
その他の疾患(不明熱/熱性疾患)	0	男	2010/08/18	糞便	エコーウイルス25型
その他の疾患(不明熱/熱性疾患)	0	男	2010/08/12	糞便	パレコウイルス4型
その他の消化器疾患	0	男	2010/08/17	糞便	パレコウイルス6型
その他の消化器疾患(腸重積症)	1	男	2010/08/07	糞便	パレコウイルス6型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市におけるRSウイルス感染症の発生動向

RSウイルス感染症 2010年 第39週現在



RSウイルス感染症に注意しましょう！

RSウイルス感染症は、例年11月から3月頃にかけて流行し、夏季にはほとんどみられません。今年も全国的に夏以降増加傾向で推移し、例年と比べて多くなっています。

広島市でも8月以降、例年同時期と比べて多い状態が続いています。

広島市衛生研究所の検査では、RSウイルスが8月以降採取分の検体から3件(0歳、1歳、1歳)検出されています(10月3日現在)。

例年より早く流行が始まる可能性があり、今後の動向に注意が必要です。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2010年第39週(9月27日～10月3日)